

リゾートしらかみに乗ろう！

寝台特急あけぼのと五能線と板谷峠の旅 (1998/12/11 ~ 1998/12/13)

おおっ 12月になっても五能線でリゾートしらかみが運行してる！
じゃあ行くか(笑)って事で今年二度目のウイークエンドフリー切符を
使ってワリと慌しく日程を組んで行く事になりました。

1998年12月現在発売されているウイークエンドフリー切符は追加料金さえ払えば
指定席が利用でき、金曜日の夜に乗車した場合、土曜日に日が変わって最初の
停車駅から有効になるようになっていきます。(びゅうプラザで確認済)

これを有効に使わない手はない！という事で秋田に行くのに「こまち」を使わずに
上野発ー奥羽本線経由ー青森行きの寝台特急「あけぼの」を使う事にしました。
これを使うと03:23の村上がちょうど日が変わった最初の駅になるので
計算すると村上一秋田間の¥3000が浮く事になります。大きい。

まあ前置きはこのくらいにして詳細を御覧ください。

第1日目(12/11~12/12)

上野 21:41 寝台特急あけぼの(A寝台・シングルDX) 秋田 06:50

何と18年振りの客車タイプの寝台特急です。18年前はあかつきに乗車したのですが、写真で残ってはいるけど身体が覚えてない。(笑)

今回、相棒と当初B寝台(ソロ)にしようと話をしていたのですが、そう何回も乗るものでもなかろうという事で豪勢にA寝台(シングルDX)にしました。約2週間前に予約を入れたのですが、1号、2号室があっさり取れました。普通の人には新幹線(こまち)で行くでしょうから空いているとは思っていましたが、ねえ。

で、12/11は夜、上野で仲間と飲んでいて、酒とかつまみ等を物色する時間がありませんでした。慌ててあけぼのに向かって行って、撮影して(笑)、酒を急いで買ってや~れやれと思ったら発車しました。危なかった。(^^;





A寝台自体は基本的には上野ー金沢を結ぶ寝台特急「北陸」と同じ構成だと思っています。洗面台、AV機器、1部屋だけど、2人寝る事が出来る等。AVといってもよくわからん邦画を流してましたね。(笑) サンライズとは違って衛星放送が見れるという事ではないのです。

左下の画像はベッドの足元からAV設備を撮影したもので、右下は枕元にある操作パネルです。洗面台は収納でします。というか収納できないと狭い。(笑)



左下の画像ですが、TVも小さいです、横に置いてあるのはB5サイズのノートパソコン ThinkPad235 ですので、比較できると思います。また、洗面台があるという事でアメニティグッズも置いてありました。これは嬉しい。(笑)



中央に置いてあるのはカードキーです。シャワーカードじゃないです。(笑)
これを使って鍵をかける事になります。

部屋の奥から扉側を見たら左下の様になります。細長い鉄パイプのような物が見えますが、これが今回は使わなかった上部のベッドへの梯子になります。右下が上部のベッドです。これを作ると下は当然ですが結構圧迫感が出ます。



下のベッドは座席にもなります。長時間の乗車ですからね。
台もしまう事が出来ます。フラットにした状態が右下です。



こんな事して撮影ばかりしていたら 1 時間経過してしまいました。(笑)
上の画像をデジカメで撮影していた時の格好はワリと情けなかったです。
忍者みたいな格好で天井にへばりついてましたから。(笑)
一息ついて相棒とビールを飲んでいたら日が変わりました。(^^;

高崎が日が変わる前の最後の乗客扱いの駅となります。
ぼーっとしていたら停車。00:16 に水上駅に運転停車したようです。
さすがに深夜なんで誰もいない。(当然だ(笑)) ちなみに雪が降って
いました。(撮影したけど掲載はしません) 00:28 に日本一のもぐら駅
土合を通過、さすがに朝早いのでここで寝ました。

6 時前に起床、朝がとても弱い私は目を覚ましただけでぼーっとして
いました。携帯が鳴るので驚いたら、相棒でした。(笑)

もたもたと車窓からの雪景色を見ながら下車の準備をし、
定刻通り 06:50 に秋田駅に到着しました。ちょっと驚いた事として
秋田で降車する客、かなり多いのです。また開放式 B 寝台の車両を
見ると予想以上に埋まっている。結構利用があるのかもかもしれません。



軽く(笑)撮影して、営業していた駅蕎麦で暖まろうとしたらもう鍋の火を止めたのでダメだよ～と言われました。ひー。(;_;) (この一件は翌日の事件を予見していたのです。とほほ)

肩を落として駅から出て、時間潰しにファーストフードに入ろうとしたのですが、苦手なドーナツ屋しか営業していませんでした。仕方なく飲茶セットと追加の紅茶で時間を潰しました。

07:30 を回った頃に駅に戻ったら、駅ビルが開店していました。ここで 09:50 まで時間を潰す事にしました。先にお土産を購入。2月に来た時に買った「美人もち」というお菓子が美味しかったのでまた購入しようとしたら、品物は既にありませんでした。とっても不機嫌。(笑)

お土産を購入して宅急便で送ったり、スピードくじをやったりして(笑)、何とかリゾートしらかみの入線時刻となりました。駅弁とお茶とビールを購入してホームに向かいます。

秋田 10:00 リゾートしらかみ(五能線経由) 弘前 14:23

この日のメイン、リゾートしらかみに乗車します。秋田から五能線経由で弘前を目指す快速の気動車です。



指定席のみですが、通常の指定席(左下)と個室タイプの指定席(右下)があります。個室っていっても開放形っぽいので、あまり嬉しくないかも。さすがに他人が使う個室を調査しまくるわけにはいきませんから。(^^; 実は閉まるかもね。車内は窓が広いせいか、暖めてもすぐに熱が逃げます。窓は拭かない限り曇ったまま、まめに温度調整はしているのですが。暖まるまで我慢してくださいというアナウンスが流れました。(笑)



車両の構成は2または4両で運行されて、先頭車両にはラウンジがあります。基本的に全車禁煙となっていて、車両の一角に喫煙コーナーがあります。この日は12月頭のオフシーズンにも関わらず4両編成でした。



JR東日本がこのリゾートしらかみに対して専用のパンフを作るなどただの1ローカル線にしては力を入れているのが意外で、2醜類の内、1つを掲載します。

五能線
クレーンガトレン
リゾートしらかみ

雪と風のロマン——日本海から津軽路の旅

12月14日～12月31日
2編成・1本1日運転

リゾートしらかみ
クルージング
時刻表

五能線ぐるっとマップ

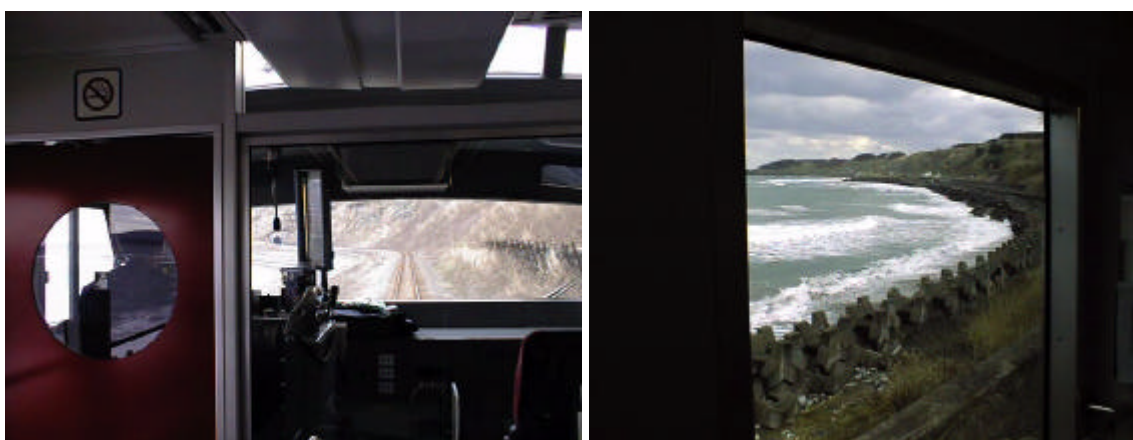
ぐるっと回って乗り降り自由
五能線周遊きっぷ

ご乗車区間	五能線周遊きっぷ 1人1往復	五能線周遊きっぷ (2) 1人1往復	五能線周遊きっぷ (3) 1人1往復
青森駅～大湊駅	5,000円	3,000円	3,200円

ラウンジには記念スタンプが置いてあったり、上りのリゾートしらかみでは
晩酌セット(日本酒&地元名産品のつまみ)を楽しむ事が出来たり。
今回は下りのみの乗車なので注文できませんでした。残念。



さて、発車。画像だけではわからないのですが、どんよりとしてこれぞ
冬の日本海という感じがナイスです。全区間ではないのですが本当に
海岸線に忠実に沿ってレールが敷かれていて凄いやなあと感心するばかり。
東能代で進行方向が逆になりました。1号車だったので美味しいですね。



落ち着いたところで駅弁タイム。(笑)車内販売で購入したつまみも撮影。

秋田駅で相棒はわっぱ舞茸を、私はハタハタすめしを購入。

どっちも印象ないですね。(笑)いえ、不味くはないのですが美味しい！という

印象もない。(^^; ハタハタは小さくて骨が心配でしたがそれは大丈夫でした。



秋田県と青森県の県境では速度を落としたり(20km/s 以下)、まめにアナウンスを流すだけのサービス満点。千畳敷の横を通過する際にもアナウンスがありました。そうそう、意外と乗車率はよかったです。車内では当然改札がありました。ラウンジでくつろいでいる相棒が何か見せて貰っていたので、何だろうと見に行ったらオレンジカードを見ていました。(笑) 全部で5種類あるのだけど、今日は4種類しかないとのお話。私も相棒も「全種類くれ」と言ったのは言うまでもありません。(笑) こういう客は当たり前(笑)なのでしょう、車掌も驚きもしませんでした。(^^;

他のお客さんも買い求めていたようですが、私達2人でちょうど無くなった柄もあったようです。ごめんね。(笑)

さて、他のお客さんもそうですが、海を見ていたら比較的長時間停車する深浦駅に 12:21 到着しました。いやあ、駅が小さい小さい。(^^; 駅前も小さいです。人は住んでいるのですが、不便そうですね。この頃、日が出てきて車両上に載っていた雪がどんどん小さくなってました。

五能線自体歴史は古く、SLが走っていた時代もありました。
深浦駅構内にあったターンテーブル(左下)がその名残だと思います。
でも駅は小さいです。(^^;



ぶらぶら撮影していて、そして発車しました。(この日の停車時間は10分)

パンフレットに記載があったのですが、鯨ヶ沢ー五所川原間では生の津軽三味線が聞けるようになっています。ただ、日によるかなあ、という事でしたのであまり期待していなかったのですが、乗車してきてくれました。初老の男性と女性で、三味線のみ演奏と歌の両方でした。津軽じょんがら節等、民謡1、カラオケ3曲というメニューでなんとボランティアだそうです。20分でしたが、なんていうんですか、魂に響くような重さがありました。撮影もしていません。車内の乗客も静かに聞いていました。

五所川原で下車していきましたが、その際に大きな拍手がありました。いやあ、遠くまで来た甲斐がありました。多くの乗客は五所川原で下車していきました。津軽鉄道がここから出ているので、乗り換えたのだと思います。

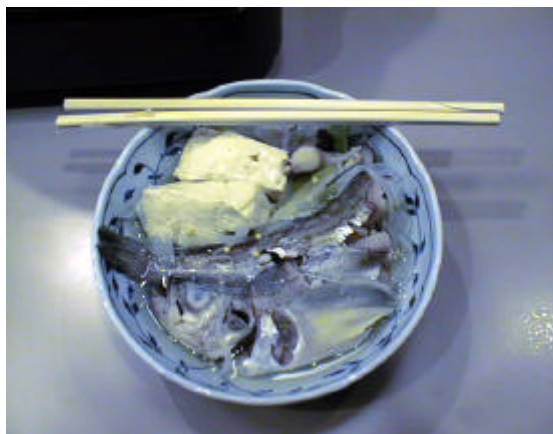
一気に客の少なくなったリゾートしらかみは一路弘前に向かいます。言われて気がついたのですが、五能線は津軽富士を中心にぐるっと回るようにレールが敷かれています。掲載はしませんが、あちこちで津軽富士は撮影しました。同じ岩木山ですが表情が違ってくるように見えます。弘前に到着、ここから奥羽本線経由で秋田に戻ります。

弘前 14:38 特急かもしか4号 秋田 16:41

青森始発の特急かもしかで秋田に戻るのですが、3両編成なので座れるかが問題でした。2時間立ちっぱなしはキツイです。(^^; 結局座る事は出来ましたが485系(国鉄色)なので席が狭いのです。

さて、大館で有名な駅弁「鶏めし弁当」を買うのが私の悲願でした。30秒停車で購入できるかが問題でしたが、駅のホームに降りたのですが雪しかない。売ってない。改札まで行く時間なんてあるわけがないのです。泣く泣く諦めて車内に戻りました。悔しいので駅の看板だけ撮影しました。(相棒に頼んでおいたのです)

がっかりして秋田に到着、慰めるかのように駅ビル内の店で相棒とハタハタのしょつつる鍋をつついていました。(笑)



薄くて味がわかりませんでした。(笑)

秋田 16:51 特急こまくさ18号 山形 21:16

この日最後の列車、山形に向かってこまくさに乗車しました。これも485系の3or5両編成。乗車したのは18号だったので3両編成でした。もー疲れて寝てました。(笑) 山形に到着して、一息してから外に飯を食いにいったのですが時間が時間なので店が。(^^; ラーメン屋で暖まって寝ました。